



ブラック企業の青年を救う力になりたい



越智代議員 (書記局支部)

労働組合や世の中のことを勉強するようになり「労働組合があるだけで全然違う」「今の労働環境があたり、少なくとも給料が上がるのは労働組合があるから」と気づいた。

仲間の輪を広げ、楽しい青年部活動を



山岡代議員 (青年部/保健所支部)

4月に入社し、保健所の窓口業務を担当している。窓口業務の職場では、府民のニーズにしっかり応えることが重要で、職員の配置は人数だけでなく、府民のニーズに応じて、性別や年齢層にも十分な配慮が必要だと感じている。

入って当たり前という組合つくりをめざしたい。役員だけががんばっても限界がある。組合員に頼ってみんなで一緒に、一人でも多くの仲間を組合に迎え入れたい。

職員を増やして長時間労働解消を



谷代議員 (土建支部)

大阪府は府営住宅の各市への移管を進めようとしている。各市の維持管理の水準ごとにサービスの差が出る可能性も危惧される。職場では「人が足りない」「適正な人員配置をしてほしい」という意見が多くある。新規採用職員や転入職員に仕事を教える余裕が足りない状態。住民説明会や災害対応など、緊急でやむを得ない業務等が時間外勤務の上限規制の対象外となっており、実際の時間外勤務数が明らかに不足している。職員の健康管理が危ぶまれている。支部としても上院対象業務の精査を迫っている。

府民の安全まもるいい仕事のために



中森代議員 (土木現場支部)

土木事務所には残業する職員が多い。今年台風21号等による大きな災害もあり、職員が不足すると危険管理が十分だと感じた。土砂崩れした道路を通行止めにし、交通誘導を行うときは、ガードマンの不足も重なり、職員が約2週間24時間体制で対応に追われた。通常業務に加え、緊急事態に対応し、職員は

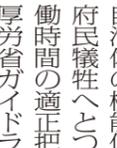
必要な職員を増やし府民のための仕事を



原代議員 (務農林支部)

労働組合のこともよくわからない青年は多いと思う。自分たちの生活や労働条件に直接関わるといふことを知り、行動すれば必ず現状を変えられると思う。今は

子どもと家族を支援できる職員体制を



宮崎代議員 (健康福祉支部)

大阪府の児童虐待対応件数が全国トップレベルで、子ども家庭センターの長時間労働が恒常化している。職員は子どもと家族のために懸命に働いている。支部や分会の要求によって増員されているが業務量に追いついていない。児童福祉法改正で配置基準が変わり、大阪府では約70名の不足となっている。増員だけでなく、新しい人に仕事を教える体制も必要だ。

文化・教育の大切さを発信したい



阪田代議員 (教委支部)

人間は社会的で歴史的存在であり、自然や文化に親しむことで自分を見つめ直せる。文化や教育の大切さを発信していきたい。

奨学金制度改善と借換え制度実現を



代議員 (研労組)

終日患者対応に追われ、休憩時間が取れないことも多いのに、時間外手当申請に煩雑で職場は混乱している。管理監督者が労働法制を理解していないと大変な

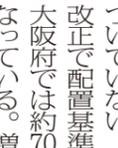
「働き方改革」は、残業代ゼロ制度をつくり、月100時間もの残業を合法化するもの。大阪府でも職員は自分の時間も体力も気力もすり減らし、長時間労働を重ねている。府職員の「働き方実態調査」では、労働基準法に反する違法な実態や職場環境の劣化が明らかになった。職員と職場の疲弊は、自治体の機能低下を招き、府民犠牲へとつながる。労働時間の適正把握を求める厚労省ガイドラインは、残業規制を求める運動による成果。正社員が当たり前、人間らしい働き方を実現する「働くルールの確立」をめざそう。



宮崎代議員 (健康福祉支部)

大阪府の児童虐待対応件数が全国トップレベルで、子ども家庭センターの長時間労働が恒常化している。職員は子どもと家族のために懸命に働いている。支部や分会の要求によって増員されているが業務量に追いついていない。児童福祉法改正で配置基準が変わり、大阪府では約70名の不足となっている。増員だけでなく、新しい人に仕事を教える体制も必要だ。

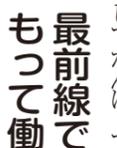
働きたくなる職場に！労働組合の大切さ実感



遠山代議員 (急性期・総合診療センター支部)

私は本庁で守衛をしている。守衛の仕事は縁の下のような業務で、心身ともに疲労しているが、現場が好きで業務に誇りを持ってがんばりたい。

運動を3年半にわたって続けてきた。法改正されたが、利益優先でなく、府民の公衆衛生を守る役割を果たす職場を守ることができた。新労働組合も立ち上げ、業務水準の維持と勤務労働条件の向上に取り組んでいる。交渉の末、労働協約も締結し、労働者を保護する内容を盛り込むことができた。今後も府職員の一人としてがんばっていく。



吉岡代議員 (現業評価/務農林支部)

現業職員は、守衛、電話交換、設備管理、検査補助、調理などの業務を担っている。業務の外部委託が進み、一般行政職への転任も実施され、現業職員は減少している。そのため一人職場や雇用条件の違う職員が同一業務を行う職場も増えている。

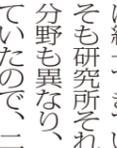
来賓

大阪自治労連執行委員長 荒田 功さん

福祉医療の拡充を求め大阪実行委員会 坂元いずみさん

日本共産党大阪府常任委員 渡部 結さん

府職労退職者会会長 笹江 昭雄さん



山上代議員 (保健所支部)

「戦争はいや」「核兵器廃絶」「子どもを戦場に送らない」という思いから「ほけんしよ9条の会」を設立した。今年「憲法カフェ」を行い、憲法の立憲主義と自衛隊を憲法9条に書き込む改憲案の危険性、さらに北朝鮮のミサイル問題などの話を聞き、ケーキを食べながら意見交換した。

大会役員のみなさんご苦労さまでした



大会議長 小西代議員 (総務農林支部)



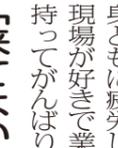
大会議長 中曾根代議員 (保健所支部)



大会運営委員長 谷澤代議員 (国際がんセンター支部)

実質一人で業務を担うワンオペ部署が増えていると思う。悩みを共有する人も見つからない中でそれぞれ必死に頑張っている。この間の職員削減と相対評価制度のせいでも、多くの優秀な職員が大阪府を辞めて他の自治体や民間企業に就職していった。大阪府は今すぐこの方針を転換して、職員を増やし、相対評価制度を中止すべきだ。

「来てよかった」と言われる専門校に



奥田代議員 (商工労働支部)

府内に6校の職業技術専門校がある。就職のための資格や技術習得を指導している。専門校は不健全な立地で、授業費の有料化もあり、生徒が募集定員に満た

憲法について仲間とじっくり考えよう



山上代議員 (保健所支部)

「戦争はいや」「核兵器廃絶」「子どもを戦場に送らない」という思いから「ほけんしよ9条の会」を設立した。今年「憲法カフェ」を行い、憲法の立憲主義と自衛隊を憲法9条に書き込む改憲案の危険性、さらに北朝鮮のミサイル問題などの話を聞き、ケーキを食べながら意見交換した。

共済制度は助け合いの活動

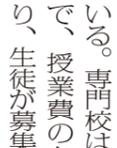


兔内代議員 (府税支部)

職場に配属された今年度の新規採用職員が組合に入社した。若い職員の加入は、他の組合員にも影響を与え、職場集会所も明るくなり、建設的な話題が多くなった。

非常勤で手話通訳をしている。府立5病院の非常勤職員にも労働契約法が適用され、病院労組のたたかいもあって、2017年4月以前採用の非常勤職員は、無期転換可能となった。しかし、それ以降は更新が5年上限となり、再応募には6ヶ月のクーリング期間が必要となる。事実上の首切りだ。非常勤職員はスキルを

奨学金制度改善と借換え制度実現を



代議員 (研労組)

終日患者対応に追われ、休憩時間が取れないことも多いのに、時間外手当申請に煩雑で職場は混乱している。管理監督者が労働法制を理解していないと大変な

職場に配属された今年度の新規採用職員が組合に入社した。若い職員の加入は、他の組合員にも影響を与え、職場集会所も明るくなり、建設的な話題が多くなった。

非常勤で手話通訳をしている。府立5病院の非常勤職員にも労働契約法が適用され、病院労組のたたかいもあって、2017年4月以前採用の非常勤職員は、無期転換可能となった。しかし、それ以降は更新が5年上限となり、再応募には6ヶ月のクーリング期間が必要となる。事実上の首切りだ。非常勤職員はスキルを